

NGOトーク
理事が聞く若い世代が集まる広場、
ココアゴラココアゴラ 事務局長 もんろう(加古 麻理江)さん &
(特活)名古屋NGOセンター 理事兼事務局長 戸村 京子

広場がキーワード

戸村 若い人たちの集まりって素敵だなと思いますね。新鮮なエネルギーを感じます。ココアゴラとはどういう意味があるのですか。

もんろう 初めまして、ボランティアスタッフで事務局長をしています。加古麻理江です。ココアゴラでは「もんろう」と呼ばれています。「ココ」は、「この場所」でもあり、ココヤシの実になぞらえて、私たちの想いもヤシの実のように、波に運ばれて違う場所で芽が出るようにという思いで名づけました。「アゴラ」は人が集う「広場」という意味ですね。一番最初は「ジャパン・エクスプローラーズ」という名前で2007年に立ち上がったのですが、2011年にココアゴラに変わりました。

戸村 この事務所は外国の小物やお菓子がいろいろ置いてあって、くつろいでしまいます。

もんろう 代表の市野将行が「ESOT 旅人の英会話」という、海外旅行と国際交流が好きな若者たちが集まる少人数制の英会話スクールをしていて、その場所をココアゴラも事務所として共同で使っています。

戸村 旅による出会いがあり、旅から視野を広げて旅に終わらずに、国際協力や多文化共生に取り組むというのがいいですね。

もんろう 最初に集まったメンバーが旅がきっかけになって世界の現実

れ、国際協力へと取り組むようになったので、旅に絡んだ活動が多いですね。私の場合、「ACHAN JAPAN」のスタディツアーでベトナムに行ったり、「国際相互理解を考える会」のスタディツアーでネパールに行ったり、ピースボートに乗ったりしました。

戸村 旅の中で、いろいろな国の人を見てきたことが、自分の中で何かしようという気持ちになったのですね。

もんろう はい。私はピースボートでケニアの巨大スラム街を訪れ、そこで暮らす人々や子どもたちと出会ってから、ずっと心に残るものがありました。

その後、そのスラム街で牛の骨からかわいいういアクセサリなどを作る職人さんや、それらの雑貨を日本で販売することで子どもたちの教育に役立っている活

動を知り、私も、彼らの雑貨を販売をすることで関って行きたいと思うようになりました。

帰国してから入ったココアゴラで、その話をしたら、「ぜひやろうよ!」とみんなが応援してくれました。それから国際協力のイベントなどで販売した収益は、ケニアに送ってスラム街で育つ子どもたちの教育支援の一部となっています。

戸村 何かをやりたいけど一人ではできない。でもココアゴラのメンバーとだったらできてしまう。そのためにココアゴラはあるのかも。

もんろう そうですね。居場所でもあり、交流の場でもあるのかもしれない。

戸村 まさに「アゴラ(広場)」がキーワードですね。仲間を作ったり、その仲間が刺激になったり。

学 生アゴラと国際協力はじめのイッポ講座

もんろう 「学生アゴラ」というイベントを毎年6月頃に行ってます。世界を想う学生たちが集う広場です。100人くらいの学生さんが参加して、10人くらいのゲストスピーカーのトークを聞く催しです。

戸村 大きなイベントですね。

もんろう ゲストスピーカーは国際協力を仕事にしている方や、社会人で国際協力にかかわっている若手の方たちです。この地域で活躍する若手社会人の先輩たちに、活動を始めたきっかけやこれまでの経験などについて語って



イベントでアフリカ雑貨を販売



もんろうさん

若い世代が集う場所「ココアゴラ」は名古屋駅から歩いて5分のところにあります。コアなメンバーのもんろうさんに、名古屋NGOセンター理事の戸村がお話を伺いました。



戸村 京子

いただいています。

学生の間は国際協力に取り組んでいても、社会人になると時間も取れなくなって国際協力から離れてしまう方が多いのですが、そうじゃなくて卒業して社会に今の活動を続けていくことをイメージしてもらいたい、という思いから開催しています。

戸村 国際協力に興味がある学生さんが100人集まるということだけでもすごいです。その方たちにはぜひ卒業してからもかかわってほしいですね。

もんろう また今年から「国際協力はじめのイッポ講座」を始めました。国際協力に興味はあるのだけどはじめのイッポが踏み出せないという若者を対象にしています。今年は4回の講座でしたが、合宿をしたり、多文化共生の現場に行ったりしました。

戸村 楽しそうですね。ココアゴラにはどんなメンバーがいるのですか。

もんろう ココアゴラで活動するメンバーを「アゴラー」と名付けています。常時いるのは10人弱で、学生と社会人が半分半分です。毎月第一水曜日にミーティングをしています。ひとりで参加してもすぐに友達になれるので、ぜひメンバーに入ってほしいと思います。

ココアゴラのこれから

戸村 名古屋NGOセンターの加盟団体には、新しい人が入ってこずに高齢化している団体も多いのです。活動を止めようかという話も聞きます。

もんろう そういう話を聞くと、もったいないと思いますね。

戸村 ココアゴラはメンバーが若いというだけではなくて、学生アゴラなどで新しい人が集まって、育っていく仕組みが素晴らしいですね。ココアゴラのこれ

からについて、どうお考えですか。

もんろう まずは学生アゴラを毎年行いたいですね。学生アゴラが6月、名古屋NGOセンターさんが毎年行っている「国際協力カレッジ」が12月。このように国際協力に興味がある方を巻き込む仕組みを作っていきたいです。

またココアゴラだけでなく、いろんな団体と一緒に何かをやりたいと思っています。ココアゴラってふわふわとした身軽さ、ゆるさが特徴なので、他の団体とくつつきやすいかもしれません。若い人は単発的にやるのは得意だけど、こつこつ続けるのは苦手。ですから、年配の方と役割を決めると、お互いの良さを生かせると思います。そのためには、コアなメンバーであるアゴラーがもっと必要になります。

戸村 いろいろなお話をありがとうございました。

(担当:丹羽)



団体概要



ココアゴラ

〒450-0002

名古屋市中村区名駅3-18-11

新明ビル3階 ランダムネス内

Mail: cocoagora@gmail.com

HP: <http://www.cocoagora.com>

Tel/Fax 052-563-5046